

## 黒枝豆収穫

10月8日から10月17日まで黒枝豆の収穫・販売作業に関して、会員様には、本当に多くのご出役を賜りましたこと誠にありがとうございました。暑く御礼申し上げます。

ゆうパックの箱詰め作業、枝豆の束の作成、今年から始めましたサヤの袋詰め作業、又、販売においては、「はたけで直販」、国道での街頭販売、味夢の里での黒枝豆祭の参加販売、若山台さまのフリーマーケットの参加販売とお世話になりました。特にほたる独自の「はたけで直販」においては、年々、沢山のお客様がお見えになり、よろこんでお帰りになっております。

半面、黒枝豆の枝付きの収支について考えてみました。1kgの束を作るのに要する時間は？100束を10人一日で出来るだろうか？不可能である。販売価格は1束500円、100束で5万円、例え10人8時間で6万8千円、1万8千円の赤字である。種まき、定植、土寄せ等の支出は入っていない。考える必要がある。今年は、1束600円で販売した。街頭での販売においては値上げの影響はなくよく買っていただいた。味夢の里においては、出荷者が自由に値段を決め、販売できるシステムになっている。出荷者が値下げ競争をしている気配も考えられる。丹波の名産「黒枝豆」は、期間限定の大切な商品、これから先のことを考えると安値を付けるのは問題である。値下げをするのは、生産者の首を絞めるだけである。しかし、売れ残れば廃棄しなければならない、廃棄するのでならば安値でさばきたい。百姓の弱みである。いつまでたっても農業が苦しいのは、このあたりが原因であるのは解っている。

京丹波ほたるの里では、黒枝豆でぼろ儲けをする考えはない。出役いただいた多く的人数で目的に向かって作業に集中し、達成する喜び、作業中、会員相互、京都府食の応援隊の皆様、お客様との友好がどこにでもないほたるの里の大きな収益だと確信しております。

地域の活性化とほたるの里のスローガン「美しいふるさとをみんなの力で守っていこう」にぴったりのこの10日間であったとよろこんでおります。ありがとうございました。

**はたけで直販、箱詰め宅配については10月23日まで実施します。**

## 11月3日、「うまいもの市」に出店

ほたるの里女性部「夢ほたる」が「11月3日、丹波自然公園開催される「うまいもの市」に出店します。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 「羽二重もち」販売のお願い

ほたるの里のもち米は本当に美味しい。品種は「新羽二重もち」です。市販されているもち米より美味しいと思います。在庫があります。会員様の知人・友人様にぜひご紹介いただきますようよろしくお願い申し上げます。

玄米30kg・・・10,300円

玄米20kg・・・6,900円

玄米10kg・・・3,500円

白米3kg・・・1,600円

美しいふるさとをみんなの力で守っていこう